

## 金沢都市計画道路の変更について (石川県決定)

都市計画道路中 3・3・6 号鈴見新庄線ほか 3 路線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造			備考	
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員		地表式の区間における鉄道等との交差の構造
幹線	3・3・6	鈴見新庄線	金沢市 もりの里 3丁目	野々市町 新庄 トの部	金沢市 田上町 大桑町 窪町 額谷町	約 12,470m		4 車線	25m	北陸鉄道石川線と立体交差 幹線街路観音堂上辰巳線、専光 寺野田線、野田大桑線、小立野 鈴見線と立体交差 幹線街路と平面交差 14 箇所	
	構造形式の内訳			錦町	大桑町		約 660m	地下式		28m	
				大桑町	大桑町		約 800m	高上式		49m	
							約 11,010m	地表式		25m	北陸鉄道石川線と立体交差 幹線街路観音堂上辰巳線、専光 寺野田線、小立野鈴見線と立体 交差 幹線街路と平面交差 12 箇所
	3・3・15	今町鈴見線	金沢市 今町 ホの部	金沢市 鈴見台 1丁目	金沢市 月浦町 神谷内町	約 8,790m		4 車線	24.5m	JR 北陸本線と立体交差 自専道森本松任線と立体交差 幹線街路吉原不動寺線、千木神 谷内線、春日東長江線、森本野々 市線、森本津幡線、梅田町線、 寺町今町線、小立野鈴見線と立 体交差	
	構造形式の内訳			観法寺町	堅田町	岩出町	約 640m	地下式		21.75m	
				月浦町	神谷内町		約 990m	地下式		21.75m	
				東長江町	鈴見台 1丁目	未広町 東御影町	約 1,220m	地下式		21.75m	
							約 5,940m	地表式		24.5m	JR 北陸本線と立体交差 自専道森本松任線と立体交差 幹線街路吉原不動寺線、千木神 谷内線、春日東長江線、森本野々 市線、森本津幡線、梅田町線、 寺町今町線、小立野鈴見線と立 体交差
	3・4・31	小立野鈴見線	金沢市 石引 1丁目	金沢市 鈴見台 1丁目	金沢市 天神町 田井町	約 1,380m	地表式	4 車線	20m	幹線街路今町鈴見線、鈴見新庄 線と立体交差 幹線街路と平面交差 3 箇所	
3・4・5	諸江向粟崎線	金沢市 諸江町 上丁	内灘町 緑台 2丁目	金沢市 北間町湊 3丁目 内灘町 向粟崎 1丁目	約 4,710m	地表式	4 車線	23m (16m~ 25m)	幹線街路森本松任線と立体交差 幹線街路と平面交差 7 箇所		
路	車線の内訳		2 車線			2,290m					
			4 車線			2,420m					

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

【理由】

3・3・6号鈴見新庄線、3・3・15号今町鈴見線は、金沢外環状道路（山側幹線）に位置づけられており、都市圏の骨格を成す幹線街路である。

今回、山側環状の全線開通により中環状道路の3・4・31号小立野鈴見線との交差点である鈴見交差点に慢性的な渋滞が発生していること、今後、交通需要の増大が見込まれることから、金沢市内各地域の連携強化および小松方面・北陸自動車道金沢森本 IC 方面へのアクセス性向上のため鈴見交差点を立体交差構造に変更するものである。また、併せて車線数を4車線に決定する。

3・4・5号諸江向栗崎線は、昭和44年に都市計画決定された道路であり、内灘町の能登有料道路と金沢外環状道路（海側幹線）および国道8号線及び金沢市街地を結ぶ重要な放射幹線道路である。

今回、金沢市大河端町の都・福久福増線との交差点から都・臨港線の北間交差点までの区間について、今後の能登有料道路の整備等による大幅な交通量の増加に対応するため、今回、幅員を16mから23mに変更するものである。また、併せて車線数を4車線に決定する。